



Published by SEAGULL

# 留学生から 見た異文化

Point of View  
of CIC  
students



異文化コミュニケーション学部公認学生団体SEAGULL

# はじめに

すべての国には多様な文化が存在する。しかし、私たちが成長する中で、出会い、学ぶ文化は限られているのが現実である。私たち留学生は、このような母国の文化から一歩遠ざかって日本という国に留学してきた。留学は、母国に居る時とは異なる視点で、国や文化、自分自身について振り返ることになる。本マガジンでは、留学生として感じた日本の文化だけでなく、留学生として見た母国、同じ民族の文化について経験したことについて、異文化に対する考えを考察する。本マガジンを通して、自分の文化について振り返り、他国の文化について新たに触れる機会になることを願う。



# 来日後に経験した異文化

異文化コミュニケーション学部には世界各国からの学生が集まっている。  
今回は、ふたりの学生に、日本での生活についてインタビューを行った。

まず、一人目は、アイルランド出身の交換留学生カリナさんを紹介する。カリナさんは、日本に来て4か月だが、日本での暮らしについて、以下のように話した。

「アイルランドから日本に留学した経験は、私にとって、間違いなく大きな変化だった。留学は初めてではなかったが、日本に来る前はヨーロッパに住んだ経験しかなかった。そのため、日本での経験は、私に新しい文化や社会について多くのことを教えてくれた。ヨーロッパと比べて、日本の気に入っている点は、食べ物、安全さ、そして街のあらゆるものへのアクセスのしやすさだ。例えば、アイルランドはカトリックの国なので、私が暮らしていた町の店は全て、日曜日は閉店している。コンビニも午後9時から10時までしか営業していない。そのため、私は、東京では、コンビニや食料品店さえも、毎日24時間営業していることにショックを受けた。ダブリンと比べても、東京は私が今まで訪れた都市の中で一番都会な街だ。このような経験は、日々新しいことの発見であり、毎日が刺激的である。」

カリナさんは、日本での生活について、店舗の営業時間や安全性などヨーロッパとの文化の違いを経験し、アイルランドからの留学生として日本での日常的な文化を感じている。インタビューを通して、日本と同じアジア出身（韓国）の筆者には気が付かない新たな発見を得ることができた。

## ①留学： アイルランド→ 日本（東京）



## ②引越： アメリカ→日本 （沖縄）



次に、異文化コミュニケーション学部2年生のタイラーさんを紹介する。タイラーさんは、アメリカで生まれ、8歳までカリフォルニア州とオハイオ州で暮らしていた。その後、父親の転勤のため、日本に引っ越し、沖縄で高校生活を過ごした。彼にとってこの出来事は、貴重な異文化体験の始まりであった。

「日本では数多くの異文化交流に関わることができた。私が在籍していた高校は、国際コースだったということもあり、高校一年生の頃から、多くの貴重な経験を重ねることができた。私の母校は留学生や沖縄に修学旅行で来る海外の学生を積極的に受け入れることが多く、特に、私のクラスでは、中国やベトナムなどのアジア諸国をはじめ、イタリアやフランスなどのヨーロッパ諸国出身の方など様々な学生を受け入れていた。私自身も幾度か担任の先生から留学生のバディーを頼まれることもあり、半年間、フランスから来た学生のサポートをするという経験は今でも忘れることができない。それは、バディーが自分のことをどう考えているかということに関しては、私の知っている日本人よりもしっかりとした強い価値観を持っていたからだ。その強い意志がいつまでも心に残っている。」

こうした経験を持つタイラーさんは、立教大学異文化コミュニケーション学部に入學し、留学生ともすぐに打ち解けることができた。多種多様な留学生との交流は、彼らのものの見方の違いを知ることにもつながり、毎日が刺激的である。

# Korean

## 韓国語？朝鮮語？



ここでは言語の中における異文化について考えてみよう。韓国・朝鮮語を使う3人（ソン インジェ、朴 世希、ジョン ジミン）が集まり、韓国・朝鮮語を比較してみた。私たちは、韓国で暮らしてきた韓国人と日本で朝鮮人という存在として生きてきた在日コリアンである。私たちはみんな同じ民族ながら同時に違う背景、違う文化の中で生きてきた。このような私たちが出会い、お互いの文化が違う部分も同じ部分もあることを感じるようになった。その中で、私たちは、私たちが使っている母語に違いがあるということについて気づいた。韓国語と朝鮮語、この2つの言語の相違点は果たして何だろう？

### CIC Seagull Group Chat



ジミン

まずは韓国語と朝鮮語がどこで使われているのか考えよう！

#### 朝鮮語がこんなところで使われているよ！

朝鮮語はどこで使われているのだろう？  
朝鮮半島で使われていることばを朝鮮語という。現在、朝鮮半島には「朝鮮民主主義人民共和国」と「大韓民国」という国が存在し、それぞれの地域で多少の違いは生まれるが、一般的には、あるいは外国語教育の現場では一つの言語として扱うことが多い。その中で、在日コリアンである私は自国の言葉を朝鮮語として扱い学び、在日コリアンとしての自身のアイデンティティを確立してきた。



セヒ



インジェ

#### 韓国語はこれだよ

韓国語はどこで使われているのだろう？  
当然ながら韓国で使われているが最近、韓流（ハンリュウ）が世界中に広がり、韓国以外でも韓国語に触れられる色々な機会が増えている。韓流の先頭に立っているK-POPをはじめ、2021年、話題の「イカゲーム」のようなドラマや映画など各種のメディアで韓国語を見聞きすることができる。それ以外にも、コリアンタウンやお店などでも韓国語に触れることができる。



# C1C Seagull Group Chat



ジミン

では今度は韓国語と朝鮮語の違いをもっと詳しく見てみよう！

2つの言語の間には大きな違いなく、8割は同じなんだって！



セヒ



インジェ

そうなんだ！じゃ、あとの2割にどんなちがいがあるんだろう？

例えば、「明日」のことを韓国語では「내일(ネイル)」って発音するけど朝鮮語は「래일(レイル)」って発音するんだ！



セヒ



ジミン

あー！それは2つの言語間のもっとも大きい違いとも言えるよね！

他にも女子のことを韓国語では「여자(ヨジャ)」  
「녀자(ニョジャ)」って言うよ！



セヒ



インジェ

へー単語の意味自体は同じで発音と子音の使い方に違いがあるんだね！他にもあるのかな？

他にも、外来語の言い方にも違いがあるんだ！



セヒ



ジミン

あ！それは私も聞いたことがある！例えば、アイスクリームのことを韓国ではそのまま「아이스크림(アイスクリーム)」って言うけど朝鮮語では「얼음과자(オルンクァジャ)」って言うよね！

「얼음과자(オルンクァジャ)」  
「얼음(オルン)」は日本語で氷、「과자(クァジャ)」は菓子のことだよ。ある意味では日本語の氷菓子と意味がほとんど同じだね！



# CIC Seagull Group Chat

うんうん！外来語を朝鮮語の表現に言い換えて使うことが多いよね！



セヒ



インジェ

そうなんだ…じゃあ、在日コリアン社会で使われている朝鮮語って何があるかな？

ある！韓国では祖母のことを「할머니(ハルモニ)」って言うけど、在日コリアン社会での朝鮮語では「함매(ハンメ)」って言うことが多い！



セヒ

「할머니(ハルモニ)」それとも「함매(ハンメ)」？  
「함매(ハンメ)」はもともと慶尙道(キョンサンド)の方言として使われていて、多くの在日コリアンは慶尙道から日本に渡ったからその方言が今でも使われているわけさ！でも、むしろ慶尙道ではもう「함매(ハンメ)」という単語を使わない。つまり、「함매(ハンメ)」は朝鮮語特有の単語ともいえるだろう！



インジェ

うわぁ、何か不思議だね！元は同じ言語を使ってたけど、時代と共に言語もそれぞれ変わってくるんだね！

上記の会話から分かるように、韓国語と朝鮮語は同じハングルを使っており、文法的にもほぼ同じだが、同じ単語でも別の読み方があったり、そもそも異なる単語もあったりすることから完全に同一の言語とは言えない。しかし、違いは決して間違いではなく、韓国語も朝鮮語も独自の歴史を経て発展してきたため、どちらも尊重するべきであろう。

私たちは韓国語と朝鮮語について調べながら同一と思われた言葉の中に「異文化」があるということに気づいた。異文化コミュニケーション学部生としても、本記事を通して韓国語と朝鮮語に限らず、私たちが常に使っている言語の中に異文化がある可能性を感じることができた。

参考文献：東京外国語大学趙義成研究室ウェブサイト「朝鮮語ビビンバー朝鮮語を知る」。

[HTTP://WWW.TUFS.AC.JP/TS/PERSONAL/CHOES/BIBIMBAB/SIRU/SIRU01.HTML](http://www.tufts.ac.jp/ts/personal/choes/bibimbab/siru/siru01.html) (2024年1月

22日にアクセス)

ソン インジェ (1年)  
朴世希 (1年)  
ジョン ジミン (2年)



# 中華料理と中国料理の違い



読者のみなさんは、日本の中華料理と中国の中国料理は、異なるということを知っているだろうか。中国の食文化において、「(中国にある)中国料理」「(日本で受容されてきた)中華料理」「(中国料理を踏襲し、日本で作られている)本格中華料理」の三つのジャンルに分けられる。文中では、前の二者に関する考察をしたい。中国料理は、地域や家庭によって多様な作り方があり、同じ名前の料理でも様々な特徴がある。今回は、日本でも人気の麻婆豆腐と春巻きを紹介したい。以下の写真は、どちらかが「中国料理」で、もう一方が「中華料理」である。どのような違いがあるだろうか。

## ①麻婆豆腐

(a)



(b)



正解：aは中国料理（中国）、bは中華料理（日本）である。

aの中国料理は、四川の麻婆豆腐である。中華料理の味は、比較的辛みが抑えられており、醤油や味噌など日本の調味料が強調され、よりバランスのとれた味になる。一方で、中国料理の方が多種多様な唐辛子を使用していることから刺激的だ。一般的な調理方法は、中国料理では、先に油と調味料を入れて、火をつけることで調味料の香りを引き出すことを重視している。香りが出たら、他の食材を入れる。鍋に冷水を入れ、豆腐と塩小さじ1杯を加えて沸騰させるプロセスがある。その後、豆腐とお湯をボウルに移し、後で加える。また、中国と日本では、使用する豆腐の種類も異なる。中国では、日本の絹ごし豆腐のような「嫩豆腐」や、木綿豆腐に当たる「老豆腐」、さらに固い「豆腐干」などもある。一般的に日本のような柔らかい豆腐を使わないため、お湯に入れることもできるだろう。

麻婆豆腐は清朝末期、四川省成都市のある料理屋の主人から由来した。顔にあばた（天然痘による瘢痕）は中国語で「麻点」といい、あばたのあるおばさん劉氏は「麻婆（マーポー）」と呼ばれている。彼女が作った豆腐を料理したのが大人気で、みんなから麻婆豆腐と呼ばれるようになった。日本に伝わった時期は明確ではないが、広く普及したきっかけは、「料理の鉄人」である陳建一氏の父・建民氏が日本人の口に合わせて提供したと言われている。

## ②春巻き

続いて、春巻きを比較してみたい。中身をよく観察すると、違いが分かるだろう。

(a)



(b)



正解：aは中国料理（中国）、bは中華料理（日本）である。

日本の中華料理では、主にたけのこ、干し椎茸、鶏ひき肉、にんじん、春雨を使用している。一方で、写真aの中国料理の春巻きは、上海バージョンである。白菜、鶏肉、たけのこ、椎茸を使用している。中国と日本の春巻きでは、皮も大きく異なる。中国は通常、小麦粉で薄い皮を使用し、揚げるとパリッとした食感になる。一方、日本の春巻きは米粉の皮を使う。中国の春巻きと比較して厚く、調理後は柔らかい食感になる。米粉の皮を使うのは、日本の伝統的な食生活における米の重要性と関連しているのかもしれない。

春巻きは、中国発祥の料理であり、その由来はさまざまな説がある。春巻きは、春の季節に新鮮な野菜や食材が豊富になることから、春に食べる習慣があったとも言われているが、具体的な起源については一致していない。一説によれば、春巻きは中国の南方で生まれ、そこから他のアジア諸国に広まったとされている。春巻きは中国の伝統的なお祝い事や節句などの特別な行事で食べられることもあり、これらの行事で縁起の良い食べ物として好まれている。

## 中日大学食堂の違い

日本の食堂でも、中華料理のメニューを目にすることが多い。食券を買い、各コーナーで並び、食事を受け取る流れは日本が多い。その様子は、中国の大学の食堂とは異なっている。中国では、食券を買う代わりに、飯卡（プリペイド式学食カード）や電子マネーを使うことが多い。学食での支払いに特化したプリペイド式学食カード「飯卡」は、食事の支払いに便利であり、学生が事前にカードに金額をチャージしておき、食堂で利用する仕組みである。他に、一部の中国の大学は「校園卡」システムを導入しており、学生証の機能を拡張し、身分証明や図書館の入館だけでなく、キャンパス内での電子決済機能もある。ここでは、中国と日本の大学の食堂の違いを紹介したい。





## ①豊富な料理の種類



こちらは、南京大学の写真である。南京大学には、9つの食堂がある。それぞれの食堂には、いくつかの窓口がある。写真からもわかるように、「西北の味」「南京特色」というさまざまな地域の料理が揃っている。中国の大学では幅広い地域から学生が集まるため、各地域の好みに合わせて、多種多様な料理が準備されている。

## ②スピーディーな対応

こちらは上海外国語大学の写真である。ここにある食べ物は、一皿2元（約42円）である。日本と比べて、中国の方が明らかに安い。ほとんどの学生は、学校にある寮に住んでいるため、学生の数も多い。そのため、食堂では、迅速な対応が求められることに加えて、事前に多くの料理を準備しておく必要がある。食堂を利用する学生は、欲しいものをスタッフに伝えるとすぐに提供される仕組みだ。



以上、中国料理と中華料理の違いについて紹介した。中国料理の種類が地域によって異なるため、本格的な中国料理を食べたい場合、ぜひ周りの中国人留学生の友達に聞いてみよう！

参考文献：

- 1) 全世界一番唐辛子が好きな人々は四川に集まっている  
[http://www.9dsalt.com/news/?19\\_125.html](http://www.9dsalt.com/news/?19_125.html)
- 2) 基本の麻婆豆腐  
<https://www.sbfoods.co.jp/recipe/detail/07818.html>
- 3) 基本の春巻きのレシピ  
<https://www.sirogohan.com/recipe/harumaki/>
- 4) 豆腐の歴史 <http://www.tofu-as.com/tofu/history/02.html>
- 5) 伝統文化；春巻きの由来と習俗  
<https://www.163.com/dy/article/DA6TQ3A305239SJI.html>



## スペイン語圏とは？

スペイン語圏とは、スペイン語が公用語である国と、公用語ではないが10万人以上のスペイン語話者を抱える国を指す（Tirosh、2021）。現在、スペイン語を公用語とする国は世界に21カ国ある。例えば、アルゼンチン、ベネズエラ、ペルーなどが挙げられる。



## スペイン語圏に対する誤解

今日、スペイン語は国境を越え、多種多様な人々を結びつけているが、ここで重要なことは、同じスペイン語を話すにもかかわらず、スペイン語圏の国々はそれぞれ独自の歴史、伝統、文化を持っているということだ。私は、日本に住むペルー人として、日常生活で人と接する中で、ペルー人だから「ペルー語」を話すとか、私達はみんな外向的でパーティーが好きといった先入観を目の当たりにすることがある。個人的には、このような誤解は、気分を害するよりも興味深いと感じる。そこで、相手が知らないことを教えてあげたり、紹介することは、未知のものを知ったり、お互いの言語や文化についての価値観を再構築することにつながり、真の異文化交流が生まれる空間を生み出すのだと思う。私が日本に来て、これまで出会った人の中には、私が「初めてのペルー人」であった人も多い。このような出会いは、自分のアイデンティティの一部を知ってもらうことにもつながり、私にとって幸せ以外の何物でもない。

チュキラチ ミルスカ (3年)

ス  
ペ  
イ  
ン  
語  
圏  
の  
味

# これでわかるペルー slang!

ペルーはラテンアメリカの中でも独特な文化と言語の多様性を持つ国である。公用語はスペイン語だが、ケチュア語とアイマラ語も公用語として認められている。不思議なことに、日常的に使われるスラングの多くが食べ物と直接関係している。ペルー人の国民性として美食家が多いことから、スラングに食べ物に関する言葉が多いのは道理である。



## ① 「Causa」 (カウサ)

ジャガイモを主原料とするペルー料理でよく知られる「カウサ」は、カジュアルに会話を始めるときにも使われる。女性よりも男性の間で、親しい人に使う言葉である。したがって、「Causa」は「フレンド」や「お兄さん」を意味する。

## ② 「Qué palta」 (ケ・パルタ)

Palta はペルーではアボカドの呼び名だが、「恥ずかしさ」を指すこともある。例えば、「Qué palta me dio pasar frente a toda esa gente」(あの人たちの前を通るのは恥ずかしかった。) といった表現をすることもある。

## ③ 「Qué piña!」 (ケ・ピニャ)

パイナップルは「不運」を意味する。「Qué piña!」は、自分の不運を残念に思っていることを表現したいときによく使われる。例えば「Qué piña que soy, todo me sale mal」(私はなんて運が悪いんだろう、何もかもがうまくいかない)。といった使い方をする。



次回のペルー旅行では、濃厚なペルー料理と豊かなスペイン語を楽しむことをお忘れなく!

参考文献：Tirosh, O. (2021). Países hispanohablantes ¿Dónde se habla el español?. TOMEDES. <https://es.tomedes.com/blog-de-traduccion/paises-hispanohablantes>.





# おわりに Open Discussion



異なる文化間のコミュニケーションにおいて、異文化理解を深めることは、大学生活で求められる学修の重要な一部である。英語圏、スペイン語圏、韓国、中国など異なる文化的背景を持つ人々との交流が増える中で、私たちはどのようにして異文化理解を促進し、共感を生むことができるのだろうか？

異文化理解の鍵は、積極的な学びとオープンな対話にあると思う。異なる文化を理解するには、その歴史や独自性に深く踏み込み、単なる観光とは異なる視点から捉えることが必要だ。例えば、英語圏の文化やスペイン語圏の習慣、韓国や中国のアイデンティティについて学び、知識を共有することは新たな視点を見出してくれる。

また、異なるアイデンティティを尊重しながら共存する方法についても深く考える必要がある。「違い」を認め、尊重することは、社会的な結束を強め、対話の土壌を育む一因となる。異なるバックグラウンドを持つ人々との関わりを通じて、自身のアイデンティティに対する理解を深め、偏見や先入観を乗り越えるスキルが培われることだろう。

本マガジンのディスカッションを通じて、異文化理解とアイデンティティの尊重について、さまざまな視点から学び合い、共に成長していけることを期待したい。

# Point of View of CIC students



## 留学生から見た異文化

異文化コミュニケーション学部公認学生  
団体SEAGULL

2024年02月発行

編集長：ジョンジミン  
          チュキラチ ミルスカ

メンバー：チョウエキサツ  
              リンウンエキ  
              ソンインジェ  
              朴世希

デザイン：チュキラチ ミルスカ

立教大学異文化コミュニケーション学部  
171-8501 東京都豊島区西池袋 3-34-1



email:  
seagull.rikkyo@gmail.com  
ig: @rikkyo.cic\_seagull

